

報告第14号

公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について

公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類について、地方自治法(昭和22年法律第67号)第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり提出します。

令和元年9月6日提出

佐野市長 岡部正英

理由

公益財団法人佐野市民文化振興事業団から、別紙のとおり経営状況を説明する書類が提出されたので報告するものです。

参考

地方自治法抜粋

(財政状況の公表等)

第243条の3 …省略…

2 普通地方公共団体の長は、第221条第3項の法人について、毎事業年  
(公益財団法人佐野市民文化振興事業団)

度、政令で定めるその経営状況を説明する書類を作成し、これを次の議会に提出しなければならない。

3 …省略…

地方自治法施行令抜粋

(法人の経営状況等を説明する書類)

第173条 地方自治法第243条の3第2項に規定する政令で定めるその経営状況を説明する書類は、当該法人の毎事業年度の事業の計画及び決算に関する書類とする。

2 …省略…

平成31年度

公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画書

公益財団法人佐野市民文化振興事業団予 算 書

自 平成31年 4月 1日

至 平成32年 3月31日

【公益財団法人佐野市民文化振興事業団】

# 目 次

I. 事業計画書 ..... 1 ~ 4

II. 予 算 書 ..... 5 ~ 9

# I 平成31年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画

(平成31年4月1日から平成32年3月31日まで)

## 1 基本方針

平成20年12月に公益法人制度改革関連三法が施行されたことに伴い、当財団も、平成24年4月1日に「公益財団法人佐野市民文化振興事業団」として設立登記を完了した。新公益法人制度の下では、評議員及び役員の法人に対する責務がこれまで以上に明確になることから、各々が役割を果たし、健全な法人運営に寄与することが求められる。

当財団は債券運用益により事業を展開しているが、平成27年度以降、利回りの良い債券が満期償還を迎えたことにより、過去最低水準の予算規模という状況が続いている。依然として景気動向・金利状況が読めない中ではあるが、費用と収入のバランスを考え、本年度も昨年度に引き続き、芸術・文化の担い手となる人材育成に力点を置いた事業に取り組む方針である。

平成31年度は、公益法人として8年目を迎えるが、当事業団定款の趣意である「すべての市民が優れた文化環境のもとで、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」を基本理念に、金利動向や財務状況を鑑みながら、本市の芸術・文化の振興を図るための公益事業の一層の充実に努めていく。

## 2 公益目的事業

### (1) 芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした体験、講座、企画展共催事業

#### ア 演劇鑑賞教室事業

伝統芸能や歌舞伎、文楽などの日本の伝統文化の鑑賞に気軽に参加し、生で本物の舞台芸術に触れる機会を提供する事業として次の事業を実施する。

(ア) 内容 歌舞伎鑑賞教室、文楽鑑賞教室

(イ) 演目 解説「歌舞伎のみかた」及び名作の上演並びに解説「文楽の魅力」及び名作の上演

(ウ) 場所 国立劇場

#### イ 美術品展示及び鑑賞事業

(ア) 美術鑑賞ツアー 市内美術館等と連携し、市民の方々が気軽に企画展を鑑賞してもらえるように、美術鑑賞ツアーを開催する。鑑賞に当たっては学芸員等による解説を受ける。

(イ) 事業団所有美術品展 佐野市役所内の市紹介スペースを利用し、事業団が収集し所有している美術品を展示し、佐野市にゆかりのある作品を来庁した市民の方々に鑑賞してもらう。

- (ウ) 壁画アートプロジェクト 市内公共施設等と連携し、プロのアーティストの指導のもと、子どもたちが壁画アートを制作する。参加者同士で協力しあいながら一枚の絵画に表現するという活動を通して、子どもたちの豊かな心や参加者相互の連帯感を育てる。

#### ウ 芸術文化に関する人材育成事業

芸術・文化の振興や創造活動を通じて優れた文化的環境を促進するためには、芸術・文化に対して専門的な知識を持つ人材が必要であり、そのような人材を育成するために次の事業を実施する。

- (ア) 舞台裏方講座 舞台装置、音響、照明の基礎を学びながら、普段は見ることのできない施設自体が持つ魅力に触れ、舞台に関心を持ってもらう。

- (イ) アートマネジメント講座 文化ホールやギャラリー等の文化施設を使って、市民が主体的に事業をプロデュースしていくために必要なことを、当該講座を通じて学び、芸術・文化の振興、普及並びに芸術・文化に関わる人材の育成を図る。また、この講座で学んだことを踏まえ、実際に市民が主体となって、市内公共施設等を活用して行う「わいわいギャラリー」事業を昨年度から、事業団市民サポーターの運営に委ね実施した。平成31年度も引き続き当該事業の運営について一任する。

- (ウ) 子ども演劇サマースクール 演劇という創作活動を通じて、子どもたちが、自発的に学ぶ機会を提供するワークショップである。プロの俳優の指導の下、実際に演じ、発表するという経験により、舞台芸術をより身近なものに感じてもらうほか、子どもたちのコミュニケーションスキルの向上をも図る。

#### (2) 市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・育成を担う団体に対する助成・支援事業

ア 趣旨 個人の楽しみから発した芸術・文化活動や地域の人々に根ざした伝統文化の保存・育成を支援することで、芸術・文化の質を高め、裾野をより拡大し、芸術・文化のもたらす力を市民の文化生活の充実に活かすことで、潤いと活力のある地域社会の創造に寄与する。

- (ア) 芸術・文化団体による主催事業への支援

- (イ) 伝統芸能保存活動への支援

※芸術・文化活動助成金（1団体当たり最大10万円）

イ 平成31年度芸術・文化活動助成事業に関しては、1団体より申請があり、平成31年1月23日に開催された平成30年度第1回事業

選考委員会において、申請団体に関し、助成事業にふさわしいと決議された。

(ア) 地域の芸術・文化振興活動事業

a 団体名 秘宝エラスムス立像に学ぶ会

b 事業名称 創立3周年記念学習講演会（エラスムス立像と共に歩む）

c 事業概要 国指定重要文化財「木造エラスムス立像」の歴史的背景や魅力を多くの市民に知ってもらうために、3周年記念事業として学習講演会を開催する。

d 助成金額 10万円

(イ) 理事長専決による助成事業 (ア)のほか、芸術・文化活動に対して理事長専決による当該年度の芸術・文化活動助成事業（助成上限金額1万円）を展開し、次年度の理事会及び評議員会に報告する。

(3) 芸術文化に関する情報収集・提供事業

ア 事業団報『かがやき』の全戸配布 年1回（9月）発行。各世帯に配布、市内各施設に設置する。

イ 広報紙・インターネットの活用 事業のPRのために、市の広報紙や、新聞、ケーブルテレビ等を活用し、積極的に市民への情報提供を行うほか、ホームページの充実を図り、事業・イベント情報を随時発信する。

(4) 各種団体事業への後援

各種団体等が実施する事業のうち文化振興に係る各種事業について、当財団が適当であると認めたものに後援名義の使用を承認する。

名義後援とは、当財団がその企画やイベントの趣旨に賛同していることを表すものであり、資金・物資・人的援助はない。

3 平成31年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団行事予定表

実施	事業名及び内容	会場等
4月	平成30年度事業・決算監査	佐野市役所
5月	通常理事会・定時評議員会	佐野市役所
6月	経営状況の説明	佐野市議会
7月	歌舞伎鑑賞教室	国立劇場
7月	子ども演劇サマースクール	葛生あくとプラザ
8月	壁画アートプロジェクト	市内公共施設
9月	事業団報『かがやき』発行	市内に全戸配布、市内各施設に設置
11月	美術鑑賞ツアー	佐野東石美術館、佐野市立吉澤記念美術館、安藤勇寿「少年の日」美術館
11月	舞台裏方講座	葛生あくとプラザ
11月	臨時理事会・臨時評議員会	佐野市役所
12月	文楽鑑賞教室	国立劇場
1月	事業選考委員会	佐野市役所
1月	事業団所有美術品展	佐野市役所
2月	通常理事会・臨時評議員会	佐野市役所
3月	アートマネジメント講座	佐野市役所

II 平成31年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団

収支予算書(正味財産増減計算ベース)

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産運用益	2,850	2,855	△ 5	運用益
② 特定資産運用益				
特定資産(管理運営財産)運用益	1,404	1,395	9	運用益
③ 受取補助金等収益				
受取出捐金			0	佐野市出捐金
④ 寄附金収益				
寄附金収益			0	
⑤ 事業収益				
参加者負担金	720	722	△ 2	
⑥ 雑収益				
受取利息	0	0	0	
その他収益	0	0	0	
事業活動収入計	4,974	4,972	2	
(2) 経常費用				
① 事業費支出	3,967	3,957	10	100%
i 演劇鑑賞教室事業	995	972	23	前年比102%
旅費交通費	315	302	13	
通信運搬費	8	8	0	
保険料	20	24	△ 4	
支払負担金	600	588	12	
支払手数料	2	2	0	
賃借料	50	48	2	
ii 美術品展示及び鑑賞事業	443	364	79	前年比122%
旅費交通費	66	70	△ 4	
消耗品費	13	12	1	
通信運搬費	3	3	0	
保険料	7	9	△ 2	
諸謝金	105	184	△ 79	壁画アートプロジェクト
租税公課	12	21	△ 9	
支払負担金	55	58	△ 3	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
支払手数料	3	3	0	
雑費	4	4	0	
委託費	175	0	175	事業団所有美術品展開催
<b>iii 芸術・文化活動人材育成事業</b>	<b>1,787</b>	<b>1,719</b>	<b>68</b>	<b>前年比104%</b>
旅費交通費	187	166	21	わいわいギャラリー打合せ時、講師宿泊費
通信運搬費	34	35	△ 1	
消耗品費	20	20	0	
印刷製本費	0	0	0	
保険料	3	3	0	
諸謝金	1,104	1,054	50	子ども演劇サマースクール、学校演劇祭、アートマネジメント講座、舞台裏方講座講師謝金等
租税公課	117	120	△ 3	
支払手数料	7	6	1	
支払助成金	315	315	0	
<b>iv 芸術・文化活動助成事業</b>	<b>202</b>	<b>352</b>	<b>△ 150</b>	<b>前年比57%</b>
通信運搬費	11	11	0	
印刷製本費	35	35	0	
支払助成金	150	300	△ 150	10万円1団体、1万円5団体
支払手数料	6	6	0	
<b>v 共通事業経費</b>	<b>540</b>	<b>550</b>	<b>△ 10</b>	<b>前年比98%</b>
通信運搬費	17	17	0	
消耗品費	30	30	0	
保険料	26	26	0	
印刷製本費	305	315	△ 10	団報『かがやき』
燃料費	21	21	0	
修繕費	94	94	0	
システム管理費	6	6	0	
諸謝金	18	18	0	団報『かがやき』執筆代
租税公課	10	10	0	自動車税、源泉所得税
支払手数料	13	13	0	
<b>②管理費支出</b>	<b>1,007</b>	<b>1,015</b>	<b>△ 8</b>	<b>前年比99%</b>
会議研修費	38	38	0	
旅費交通費	10	10	0	
通信運搬費	17	17	0	
交際費	10	10	0	
消耗品費	5	5	0	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
修繕費	86	86	0	
印刷製本費	100	105	△ 5	団報『かがやき』
燃料費	20	20	0	
保険料	24	24	0	
諸謝金	250	249	1	TKC会計システム、コンサルティング
租税公課	35	42	△ 7	自動車税、源泉所得税
システム管理費	4	4	0	
賃借料	321	318	3	TKC会計システム
支払負担金	69	69	0	
支払利息	0	0	0	
支払手数料	18	18	0	
経常費用計	4,974	4,972	2	
当期経常増減額	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	40,874	40,874	0	
一般正味財産期末残高	40,874	40,874	0	
II 指定正味財産増減の部				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息	2,850	2,855	△ 5	
②特定資産運用益				
特定資産受取利息	1,404	1,395	9	
③一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 4,119	△ 4,113	△ 6	
当期指定正味財産増減額	135	137	△ 2	
指定正味財産期首残高	896,880	896,743	137	
指定正味財産期末残高	897,015	896,880	135	
III 正味財産期末残高	937,889	937,754	135	

(注)

1. 従来、収支予算書は「資金収支方式」により作成していたが、平成24年度から公益法人認定法施行規則第30条に基づき、「正味財産増減計算方式」により作成している。

2. 予算書は、公益法人会計基準の運用指針(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)の「正味財産増減計算書」の様式に準じて作成している。

3. 前年度の一般正味財産及び指定正味財産の期末残高並びに当年度の一般正味財産及び指定正味財産の期首・期末残高は、本予算編成時(平成31年1月)における見込額である。

平成31年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団正味財産増減予算内訳書

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 控除	合計
	体験、講座、 共催事業	助成・ 支援事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	2,850	2,850		0	2,850
基本財産運用益	0	0	2,850	2,850	0		2,850
特定資産運用益	0	0	0	0	1,404	0	1,404
管理財産(特別事業基金)運用益	0	0	0	0	1,404		1,404
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
出捐金	0	0	0	0			0
事業収入	720	0	0	720	0	0	720
事業参加者負担金	720	0		720			720
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
文化振興事業団寄附金	0	0	0	0			0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0
現金預金受取利息	0	0	0	0	0		0
雑入	0	0	0	0	0		0
経常収益計	720	0	2,850	3,570	1,404	0	4,974
(2) 経常費用							
事業費	3,225	202	540	3,967	0	0	3,967
旅費交通費	568			568			568
通信運搬費	45	11	17	73			73
減価償却費				0			0
消耗什器備品費				0			0
消耗品費	33		30	63			63
修繕費			94	94			94
印刷製本費	0	35	305	340			340
燃料費			21	21			21
システム管理費			6	6			6
保険料	30		26	56			56
諸謝金	1,209		18	1,227			1,227
租税公課	129		10	139			139
賃借料	50			50			50
支払負担金	655			655			655
支払助成金	315	150		465			465
支払手数料	12	6	13	31			31
委託費	175			175			175
交際費			0	0			0
雑費	4		0	4			4

管理費					1,007	0	1,007
会議研修費					38		38
旅費交通費					10		10
通信運搬費					17		17
交際費					10		10
減価償却費					0		0
消耗什器備品費					0		0
消耗品費					5		5
修繕費					86		86
印刷製本費					100		100
燃料費					20		20
保険料					24		24
諸謝金					250		250
租税公課					35		35
システム管理費					4		4
賃借料					321		321
支払負担金					69		69
支払利息					0		0
支払手数料					18		18
雑費					0		0
経常費用計	3,225	202	540	3,967	1,007	0	4,974
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,505	△ 202	2,310	△ 397	397	0	0
基本財産評価損益等				0			0
特定資産評価損益等				0			0
投資有価証券評価損益等				0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,505	△ 202	2,310	△ 397	397	0	0
2. 経常外増減の部							0
(1) 経常外収益							0
中科目別記載				0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							0
中科目別記載				0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額				0			0
当期一般正味財産増減額	△ 2,505	△ 202	2,310	△ 397	397	0	0
一般正味財産期首残高				0	40,874		40,874
一般正味財産期末残高	△ 2,505	△ 202	2,310	△ 397	41,271	0	40,874
II 指定正味財産増減の部							0
基本財産受取利息			2,881	2,881			2,881
特定資産受取利息				0	1,498		1,498
一般正味財産への振替額			△ 2,849	△ 2,849	△ 1,395		△ 4,244
当期指定正味財産増減額	0	0	32	32	103	0	135
指定正味財産期首残高			500,963	500,963	395,917		896,880
指定正味財産期末残高	0	0	500,995	500,995	396,020	0	897,015
III 正味財産期末残高	△ 2,505	△ 202	503,305	500,598	437,291	0	937,889

1998

1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

2026

2027

2028

2029

2030

2031

2032

2033

2034

2035

2036

2037

2038

2039

2040

2041

2042

2043

平成30年度

公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告

公益財団法人佐野市民文化振興事業団決算報告

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月 31日

【公益財団法人佐野市民文化振興事業団】

## 目 次

---

I. 事業報告及び附属明細書	.....	1 ~ 8
II. 貸借対照表及び内訳表	.....	9・10
III. 正味財産増減計算書及び内訳表	.....	11 ~ 15
IV. 財務諸表に対する注記	.....	16 ~ 19
V. 附属明細書	.....	20
VI. 財産目録	.....	21
VII. 監査報告書	.....	22

# I 平成30年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告 (平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

## 1 事業概要

公益財団法人佐野市民文化振興事業団は、「すべての市民がすぐれた文化環境のもと、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」を基本理念とする事業団設立趣旨に基づき、各種公益目的事業を推進している。

「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に規定する「公益目的事業の適正な実施による公益の増進」を図るべく、法令等に定められた公益認定基準やガバナンスに適合した健全かつ透明性の高い法人運営を行うとともに、事業選考委員会の開催により、公正で信頼される事業を展開している。

公益目的事業としては、芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした体験、講座、企画展共催事業及び市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・育成を担う団体に対する助成・支援事業を展開した。特に、芸術・文化に関する人材育成事業については、7月に「子ども演劇サマースクール」を、11月に「アートマネジメント講座」関連事業として「わいわいギャラリー」と「美術鑑賞・舞台裏方ツアー」を開催し、いずれも大変な好評を博した。

財政面における環境は、日本経済のデフレ化に加え、日本銀行がマイナス金利政策を導入したことにより、長期債においてゼロ金利状態が続くなどますます厳しい状況になっているが、資金運用計画に基づき、保有資産の適切な運用に努めた。

### (1) 公益目的事業1 (事業番号：公1)

芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした体験、講座、企画展共催事業

#### ア 演劇鑑賞教室事業

##### (ア) 歌舞伎鑑賞教室

- a 期日 平成30年7月4日(水)
- b 場所 国立劇場大劇場(東京都千代田区)
- c 内容 伝統芸能や歌舞伎、文楽などの日本の伝統文化の鑑賞に気軽に参加し、生で本物の舞台芸術に触れられる場の提供として、演劇鑑賞教室事業を開催した。
- d 演目等 国立劇場7月歌舞伎鑑賞教室(解説：歌舞伎のみかた、演目：にほんふりそではじめ日本振袖始)
- e 参加者負担金 6,000円
- f 参加者 80人

- (イ) 文楽鑑賞教室
- a 期日 平成30年12月6日(木)
  - b 場所 国立劇場小劇場(東京都千代田区)
  - c 演目等 国立劇場12月文楽鑑賞教室(解説:文楽の魅力、  
演目:団子売、菅原伝授手習鑑<sup>だんごうり すがわらでんじゆてならいかのみ</sup>)
  - d 参加者負担金 5,000円
  - e 参加者 40人

イ 美術品展示及び鑑賞事業

- (ア) 美術鑑賞・舞台裏方ツアー
- a 期日 平成30年11月13日(火)
  - b 内容 市内の美術館と連携し、市民の方々が気軽に企画展を鑑賞してもらえるよう、美術鑑賞ツアーを開催し、これにあわせて舞台の裏側を見学した。佐野市葛生あくどプラザで舞台装置の見学と照明体験を行った。
  - c 場所 安藤勇寿「少年の日」美術館、佐野東石美術館及び佐野市立吉澤記念美術館、佐野市葛生あくどプラザ
  - d 参加者負担金 1,000円
  - e 参加者 25人

(イ) モニュメント活用事業

- a 期日 平成31年3月21日(木)
- b 内容 市民の皆さんに、文化・芸術およびモニュメントを身近に感じていただくため、モニュメントを活用した、音楽・舞踊の上演を実施した。
- c 演目等 昼下がりのフラメンコと大人のロック
- d 場所 佐野市役所南側モニュメント『記憶としての構造-2015』周辺
- e 出演 艱難辛苦、サンセレッソ
- f 参加者 150人

(ウ) 壁画アートプロジェクト

- a 期日 平成30年8月6日(月)及び8月7日(火)
- b 内容 子どもたちに宮澤賢治の童話「やまなし」を読み聞かせて、その物語を壁画として表現するアート制作体験を行った。
- c 場所 佐野市西児童館
- d 講師 林香君氏(文星芸術大学名誉教授・陶芸家)
- e 参加者 24人

ウ アートマネジメント講座

(ア) アートマネジメント講座

- a 期日 平成31年3月9日(土)及び3月10日(日)
- b 内容 文化ホールやギャラリーなど、文化施設を使って市民が主体的に事業をプロデュースしていくために必要なことを、企画から運営まで学んだ。
- c 場所 市民ギャラリー
- d 講師 松井憲太郎氏(富士見市民文化会館館長)
- e 参加者 15人

(イ) 第7回わいわいギャラリー

- a 期日 平成30年11月18日(日)
- b 内容 過去のアートマネジメント講座受講生たちが、“子どもの文化環境を耕す”ことを目標として、「文化サロンさの。」を結成。市民サポーター助成金146,310円の交付を受け、市内の施設を活用して、「わいわいギャラリー」事業をプロデュースし、実施した。
- c 場所 吉本義人氏アトリエ、マリアージュ仙水
- d テーマ 時を刻む彫刻—彫刻は時空を超えて—
- e ゲスト 吉本義人氏(彫刻家・モニュメント製作者)
- f 聞き手 松井憲太郎氏(富士見市民文化会館館長)
- g 参加者 62人

エ 子ども演劇サマースクール

(ア) 子ども演劇サマースクール

- a 期日 平成30年7月26日(木)から27日(金)まで
- b 内容 演劇という創作活動を通じて、子どもたちが自発的に学ぶ機会を提供するワークショップである。プロの俳優の指導のもと、実際に演じ、発表するという経験により、舞台芸術をより身近なものに感じてもらうほか、子どもたちのコミュニケーションスキルの向上にもつながる。
- c 場所 佐野市葛生あくとプラザ
- d 講師 文学座所属劇団員7人(加納朋之氏、高橋克明氏、山崎美貴氏、駒井健介氏、永川友里氏、櫻井章喜氏及び鈴木亜希子氏)
- e 参加者 22人

(イ) 平成30年度佐野市学校演劇祭

- a 期日 平成30年9月7日(金)
- b 場所 佐野市葛生あくとプラザ

- c 内容 子ども演劇サマースクールに参加した児童・生徒も出演し、その練習の成果を披露した。当事業団より、子ども演劇サマースクールで講師を務めた加納朋之氏、栃木県出身俳優の佐藤尚子氏を審査員として派遣した。

(2) 公益目的事業2 (事業番号：公2)

市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・育成を担う団体に対する助成・支援事業

ア 芸術・文化活動助成事業 (3団体)

(ア) 全日本写真連盟佐野支部 創立45周年記念写真展

- a 期日 平成30年7月20日(金)から27日(金)まで
- b 場所 佐野市役所 市民活動スペース
- c 主催 全日本写真連盟佐野支部
- d 支援内容 100,000円(地域の芸術・文化振興活動事業助成金として)

(イ) 天明鋳物の伝統技術資料保存と継承活動

- a 期日 平成30年4月1日(日)から12月31日(月)まで
- b 内容 資料保存環境整備と電子記録作業、鋳物講座・研究会等による継承活動
- c 主催 天命鋳物伝承保存会
- d 支援内容 100,000円(地域の伝統文化保存・育成事業助成金として)

(ウ) 芦哇獅子舞練習用笛購入

- a 期日 平成31年3月2日(土)
- b 内容 市指定無形民俗文化財「芦哇の獅子舞」の練習用の笛3本の購入
- c 主催 芦哇獅子舞推進委員会
- d 支援内容 10,000円(地域の伝統文化保存・育成事業助成金として)

(3) 公益目的事業・共通(略称番号：共通)

ア 事業団報『かがやき』第24号の発行

事業団報『かがやき』第24号を発行し、全世帯、市内各施設に配布した。

- (ア) 発行 平成30年9月1日(土)
- (イ) 体裁 A4版、8頁(フルカラー)
- (ウ) 部数 46,000部

イ 文化団体への後援

- (ア) 佐野市民合唱団“Voice”第21回記念定期演奏会
  - a 期日 平成30年9月9日(日)
  - b 場所 佐野市文化会館
  - c 主催 佐野市民合唱団“Voice”
- (イ) 第3回佐野少年少女合唱団♪dolce♪定期演奏会
  - a 期日 平成30年10月8日(月)
  - b 場所 田沼中央公民館
  - c 主催 佐野少年少女合唱団♪dolce♪
- (ウ) 第10回さのクラシックコンサート・新井祐子ピアノコンサート～ピアノとオーケストラによる華麗なる饗宴～
  - a 期日 平成30年10月21日(日)
  - b 場所 佐野市文化会館
  - c 主催 佐野市文化会館
- (エ) 第13回佐野新人演奏会
  - a 期日 平成31年1月27日(日)
  - b 場所 佐野市文化会館
  - c 主催 佐野ユネスコ協会
- (オ) 佐野市民文化祭・さの演劇塾第9回公演「ゴジラ」
  - a 期日 平成30年10月20日(土)及び21日(日)
  - b 場所 佐野市文化会館
  - c 主催 さの演劇塾、佐野市及び佐野市文化協会
- (カ) 佐野第九合唱団第26回演奏会
  - a 期日 平成30年12月23日(日)
  - b 場所 佐野市文化会館
  - c 主催 公益財団法人群馬交響楽団、佐野市民合唱団“Voice”
- (キ) 第113回記念日本水彩画会安足支部展
  - a 期日 平成30年8月31日(金)から9月2日(日)まで
  - b 場所 足利市市民会館
  - c 主催 公益社団法人日本水彩画会安足支部
- (ク) 第114回記念日本水彩画会安足支部展
  - a 期日 平成31年1月23日(水)から27日(日)まで
  - b 場所 佐野市文化会館
  - c 主催 公益社団法人日本水彩画会安足支部
- (ケ) 第7回佐野市文化振興大会
  - a 期日 平成31年2月16日(土)
  - b 場所 佐野市文化会館
  - c 主催 佐野市文化協会

2 理事会、評議員会に関する事項

(1) 理事会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
第1回 通常	平成30年 5月11日	1 報告第1号 職務の執行状況の報告について	-
		2 議案第1号 平成30年度定時評議員会の招集について	可決
		3 議案第2号 任期満了等に伴う事業選考委員の選任について	可決
		4 議案第3号 平成29年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告について	可決
		5 議案第4号 平成29年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団決算報告について	可決
臨時	平成30年 5月31日	1 議案第1号 理事長（代表理事）の選定について	可決
		2 議案第2号 専務理事（業務執行理事）の選定について	可決
臨時	平成30年 11月9日	1 報告第1号 職務の執行状況の報告について 2 議案第1号 平成30年度第1回事業選考委員会の開催について	- 可決
第2回 通常	平成31年 2月5日	1 報告第1号 職務の執行状況の報告について	-
		2 議案第1号 平成30年度臨時評議員会の招集について	可決
		3 議案第2号 平成31年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画について	可決
		4 議案第3号 平成31年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団収支予算について	可決

(2) 評議員会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
定時	平成30年 5月31日	1 報告第1号 任期満了等に伴う事業選考委員の選任について	—
		2 議案第1号 任期満了に伴う理事の選任について	可決
		3 議案第2号 任期満了前の退任に伴う評議員の選任について	可決
		4 議案第3号 平成29年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告について	可決
		5 議案第4号 平成29年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団決算報告について	可決
臨時	平成31年 2月21日	1 報告第1号 平成31年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画について	—
		2 報告第2号 平成31年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団収支予算について	—

3 事業選考委員会に関する事項

承認年月日	件名
平成31年1月23日	1 平成31年度事業計画・収支予算について 2 平成31年度佐野市民文化振興事業団芸術・文化活動助成金の審査について

4 登記に関する事項

申請年月日	件名
平成30年6月7日	理事、評議員の死亡、退任及び任期満了による役員の変更と新理事長の選定について登記の変更を行った

5 情報公開に関する事項

特になし。

## 附属明細書

平成30年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しない。

Ⅱ 貸借対照表  
平成31年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	3,574,890	3,218,719	356,171
流動資産合計	3,574,890	3,218,719	356,171
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	499,892,860	499,866,075	26,785
定期預金(基)(指定)	0	0	0
定期預金	3,419,429	3,419,429	0
定期預金(アンダーパー取得分)	267,850	267,850	0
基本財産合計	503,580,139	503,553,354	26,785
(2) 特定資産			
投資有価証券	199,378,455	199,274,865	103,590
特別事業基金(管理運営財産)	20,399,065	20,399,065	0
定期預金(アンダーパー取得分)	1,035,905	1,035,905	0
定期預金	200,000,000	200,000,000	0
モニュメント定期補修積立資金	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	421,813,425	421,709,835	103,590
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
美術品	3,010,000	3,010,000	0
美術品(モニュメント)	17,000,000	17,000,000	0
その他固定資産合計	20,010,001	20,010,001	0
固定資産合計	945,403,565	945,273,190	130,375
資産合計	948,978,455	948,491,909	486,546
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	503,580,139	503,553,354	26,785
寄付金	396,282,956	396,179,366	103,590
指定正味財産合計	899,863,095	899,732,720	130,375
(うち基本財産への充当額)	(503,580,139)	(503,553,354)	(26,785)
(うち特定資産への充当額)	(396,282,956)	(396,179,366)	(103,590)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(25,530,469)	(25,530,469)	(0)
正味財産合計	948,978,455	948,491,909	486,546
負債及び正味財産合計	948,978,455	948,491,909	486,546

貸借対照表内訳表  
平成31年 3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	法人 会計	内部取引 消去	合計
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	271,653	3,303,237		3,574,890
流動資産合計	271,653	3,303,237		3,574,890
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	499,892,860	0		499,892,860
定期預金(基)(指定)	0	0		0
定期預金	3,419,429	0		3,419,429
定期預金(アンダーパー取得分)	267,850	0		267,850
基本財産合計	503,580,139	0		503,580,139
(2) 特定資産				
投資有価証券	0	199,378,455		199,378,455
特別事業基金(管理運営財産)	0	20,399,065		20,399,065
定期預金(アンダーパー取得分)	0	1,035,905		1,035,905
定期預金	0	200,000,000		200,000,000
モニュメント定期補修積立資金	0	1,000,000		1,000,000
特定資産合計	0	421,813,425		421,813,425
(3) その他固定資産				
車両運搬具	1	0		1
美術品	3,010,000	0		3,010,000
美術品(モニュメント)	17,000,000	0		17,000,000
その他固定資産合計	20,010,001	0		20,010,001
固定資産合計	523,590,140	421,813,425	0	945,403,565
資産合計	523,861,793	425,116,662	0	948,978,455
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
流動負債合計	0	0		0
2. 固定負債				
固定負債合計				
負債合計	0	0		0
<b>III 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産				
地方公共団体補助金	503,580,139	0		503,580,139
寄付金		396,282,956		396,282,956
指定正味財産合計	503,580,139	396,282,956		899,863,095
(うち基本財産への充当額)	(503,580,139)	(0)		(503,580,139)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(396,282,956)		(396,282,956)
2. 一般正味財産	31,448,167	17,667,193		49,115,360
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(25,530,469)		(25,530,469)
正味財産合計	535,028,306	413,950,149		948,978,455
負債及び正味財産合計	535,028,306	413,950,149		948,978,455

Ⅲ 正味財産増減計算書  
平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,849,367	2,816,088	33,279
基本財産運用益計	2,849,367	2,816,088	33,279
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,402,712	1,597,781	△ 195,069
特定資産運用益計	1,402,712	1,597,781	△ 195,069
事業収益			
芸術鑑賞会参加負担金収益	680,000	400,000	280,000
美術鑑賞ツアー参加負担金収益	25,000	21,000	4,000
事業収益計	705,000	421,000	284,000
雑収益			
受取利息	33	348	△ 315
雑収益計	33	348	△ 315
経常収益計	4,957,112	4,835,217	121,895
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	495,332	420,148	75,184
通信運搬費	64,888	81,620	△ 16,732
車両運搬具減価償却費	0	0	0
消耗品費	240,747	339,901	△ 99,154
修繕費	40,693	23,756	16,937
印刷製本費	296,217	327,294	△ 31,077
燃料費	17,697	8,052	9,645
賃借料	0	0	0
保険料	51,921	48,955	2,966
諸謝金	1,172,000	1,247,000	△ 75,000
租税公課	13,053	11,500	1,553
支払負担金	689,000	474,720	214,280
支払助成金	356,310	300,000	56,310
委託費	238,417	30,417	208,000
システム管理費	6,154	7,683	△ 1,529
支払手数料	12,304	9,882	2,422
会議研修費(事業)	1,922	3,329	△ 1,407
雑費	13,260	16,603	△ 3,343
事業費計	3,709,915	3,350,860	359,055

管理費			
會議研修費	8,320	2,000	6,320
交際費	0	0	0
旅費交通費	3,320	3,320	0
通信運搬費	12,390	4,838	7,552
車両運搬具減価償却費	0	0	0
消耗品費	7,804	46,490	△ 38,686
修繕費	37,153	243,090	△ 205,937
印刷製本費	98,739	100,602	△ 1,863
燃料費	16,158	7,353	8,805
賃借料	317,520	317,520	0
保険料	30,699	31,787	△ 1,088
租税公課	11,917	10,500	1,417
支払負担金	68,040	68,040	0
支払手数料	275,120	262,558	12,562
システム管理費	3,846	4,801	△ 955
雑費	0	22,559	△ 22,559
管理費計	891,026	1,125,458	△ 234,432
経常費用計	4,600,941	4,476,318	124,623
評価損益等調整前当期経常増減額	356,171	358,899	△ 2,728
当期経常増減額	356,171	358,899	△ 2,728
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	356,171	358,899	△ 2,728
一般正味財産期首残高	48,759,189	48,400,290	358,899
一般正味財産期末残高	49,115,360	48,759,189	356,171
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,849,367	2,816,088	33,279
投資有価証券受取利息	130,375	130,375	0
基本財産運用益計	2,979,742	2,946,463	33,279
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,402,712	1,597,781	△ 195,069
特定資産運用益計	1,402,712	1,597,781	△ 195,069
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	4,252,079	4,413,869	△ 161,790
当期指定正味財産増減額	130,375	130,375	0
指定正味財産期首残高	899,732,720	899,602,345	130,375
指定正味財産期末残高	899,863,095	899,732,720	130,375
III 正味財産期末残高	948,978,455	948,491,909	486,546

正味財産増減計算書内訳表  
平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公1(体験・講座共催事)	公2(助成支援事業)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用利益			2,849,367	2,849,367			2,849,367
基本財産受取利息							
基本財産運用益計			2,849,367	2,849,367			2,849,367
特定資産運用利益							
特定資産受取利息					1,402,712		1,402,712
特定資産運用益計					1,402,712		1,402,712
事業収益							
芸術鑑賞会参加負担金収益	680,000			680,000			680,000
美術鑑賞ツアー参加負担金収益	25,000			25,000			25,000
事業収益計	705,000			705,000			705,000
雑収益							
受取利息					33		33
雑収益計					33		33
経常収益計	705,000		2,849,367	3,554,367	1,402,745		4,957,112
(2) 経常費用							
事業費							
旅費交通費	495,332			495,332			495,332
通信運搬費	22,632	10,086	32,170	64,888			64,888
消耗品費	195,980	4,277	40,490	240,747			240,747
修繕費	33,615	1,770	5,308	40,693			40,693
印刷製本費	98,739	98,739	98,739	296,217			296,217
燃料費	14,620	769	2,308	17,697			17,697

保険料	46,075	1,461	4,385	51,921		51,921
諸謝金	1,140,000		32,000	1,172,000		1,172,000
租税公課	10,783	567	1,703	13,053		13,053
支払負担金	689,000			689,000		689,000
支払助成金	146,310	210,000		356,310		356,310
委託費	238,417			238,417		238,417
システム管理費	4,476	539	1,139	6,154		6,154
支払手数料	10,306	1,026	972	12,304		12,304
会議研修費(事業)	1,922			1,922		1,922
雑費	8,260		5,000	13,260		13,260
事業費計	3,156,467	329,234	224,214	3,709,915		3,709,915
管理費						
会議研修費					8,320	8,320
旅費交通費					3,320	3,320
通信運搬費					12,390	12,390
消耗品費					7,804	7,804
修繕費					37,153	37,153
印刷製本費					98,739	98,739
燃料費					16,158	16,158
賃借料					317,520	317,520
保険料					30,699	30,699
租税公課					11,917	11,917
支払負担金					68,040	68,040
支払手数料					275,120	275,120
システム管理費					3,846	3,846
雑費					0	0
管理費計					891,026	891,026
経常費用計	3,156,467	329,234	224,214	3,709,915	891,026	4,600,941
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,451,467	△ 329,234	2,625,153	△ 155,548	511,719	356,171
当期経常増減額	△ 2,451,467	△ 329,234	2,625,153	△ 155,548	511,719	356,171



#### IV. 財務諸表に対する注記

##### 1. 重要な会計方針

###### (1) 会計基準

公益法人会計基準

(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正、  
平成28年3月22日改正 内閣府公益認定等委員会)

###### (2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却原価法(定額法)によっている。

###### (3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。ただし、美術品については減価償却を行わない。

###### (4) 引当金の計上基準

該当なし。

###### (5) リース取引の処理方法

該当なし。

###### (6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

##### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	499,866,075	26,785	0	499,892,860
定期預金	3,419,429	0	0	3,419,429
定期預金(債券アンダーパー取得分)	267,850	0	0	267,850
小計	503,553,354	26,785	0	503,580,139
<b>特定資産</b>				
投資有価証券	199,274,865	103,590	0	199,378,455
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
定期預金	20,399,065	0	0	20,399,065
定期預金(債券アンダーパー取得分)	1,035,905	0	0	1,035,905
モニュメント定期補修積立資金(モニュメント定期補修費)	1,000,000	0	0	1,000,000
小計	421,709,835	103,590	0	421,813,425
合計	925,263,189	130,375	0	925,393,564

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	499,892,860	499,892,860	0	0
定期預金	3,419,429	3,419,429	0	0
定期預金(債券アンダーパー取得分)	267,850	267,850	0	0
小 計	503,580,139	503,580,139	0	0
特定資産				
投資有価証券	199,378,455	180,247,051	19,131,404	0
定期預金	200,000,000	200,000,000	0	0
定期預金	20,399,065	15,000,000	5,399,065	0
定期預金(債券アンダーパー取得分)	1,035,905	1,035,905	0	0
モニュメント定期補修積立資金(モニュメント定期補修費)	1,000,000	0	1,000,000	0
小 計	421,813,425	396,282,956	25,530,469	0
合 計	925,393,564	899,863,095	25,530,469	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,257,040	1,257,039	1
什器備品(美術品)	3,010,000	0	3,010,000
モニュメント(美術品)	17,000,000	0	17,000,000
合 計	21,267,040	1,257,039	20,010,001

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 記載区分
佐野市出捐金 (補助金)	佐野市	503,553,354	26,785	0	503,580,139	指定正味
佐野市出捐金 (寄附金)	佐野市	396,179,366	103,590	0	396,282,956	指定正味
合 計		899,732,720	130,375	0	899,863,095	

(注) 原資は、市補助金500,000,000円(平成5年度～14年度まで毎年5千万円×10年)、民間寄附金393,556,000円(平成6年度～21年度まで、13,823件)である。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(注) 当財団にて購入・運用している債券の帳簿価額は、満期時に債券額面による償還を受けることを予定している(満期保有目的の債券である)ことから、会計処理上、取得価額ではなく償却原価法(定額法)に基づく価額で表示している。また、表の「評価損益」とは、期末時点(平成31年3月30日または平成31年3月31日時点)の償却原価法にもとづく帳簿価額と時価との差額であり、満期時に額面による償還を受ける場合に見込まれる損益を示すものではない。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
①愛知県H23第11回公募公債	100,000,000	102,594,200	2,594,200
②第123回共同発行市場公募公債	99,866,075	103,680,000	3,813,925
③横浜市平成25年度第2回公募公債	100,000,000	103,711,300	3,711,300
④第142回共同発行市場公募公債	99,274,865	101,930,000	2,655,135
⑤第149回共同発行市場公募公債	100,000,000	102,999,600	2,999,600
⑥政府保証債 第258回 日本高速道路保有・ 債務返済機構債券	100,000,000	102,990,000	2,990,000
⑦第169回共同発行市場公募公債	100,000,000	101,470,000	1,470,000
合 計	699,140,940	719,375,100	20,234,160

(参考)

公益目的事業用債券

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
②第123回共同発行市場公募公債	99,866,075	103,680,000	3,813,925
③横浜市平成25年度第2回公募公債	100,000,000	103,711,300	3,711,300
⑤第149回共同発行市場公募公債	100,000,000	102,999,600	2,999,600
⑥政府保証債 第258回 日本高速道路保有・ 債務返済機構債券	100,000,000	102,990,000	2,990,000
⑦第169回共同発行市場公募公債	100,000,000	101,470,000	1,470,000
合 計	499,866,075	514,850,900	14,984,825

(参考)

法人会計用債券

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
①愛知県H23第11回公募公債	100,000,000	102,594,200	2,594,200
④第142回共同発行市場公募公債	99,274,865	101,930,000	2,655,135
合 計	199,274,865	204,524,200	5,249,335

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	2,849,367
特定資産受取利息	1,402,712
合 計	4,252,079

(注)債券及び定期預金運用益による利息である。

## V. 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

該当なし。

VI. 財産目録  
平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	預金	普通預金 足利銀行佐野支店	運転資金として	3,574,890
流動資産合計				3,574,890
(固定資産)				
1. 基本財産			公益目的保有財産	
	基本財産 (定期預金)	足利銀行佐野支店 佐野信用金庫本店 栃木銀行佐野支店		1,920,000 1,499,429 267,850
	(投資有価証券)	第149回共同発行市場公募公債 政府保証債第258回日本高速道路保有・債務返済機構債券 第123回共同発行市場公募公債 横浜市平成25年度第2回公募公債 第169回共同発行市場公募公債		100,000,000 100,000,000 99,892,860 100,000,000 100,000,000
	基本財産合計			503,580,139
2. 特定資産			管理運営財産	
	特別事業基金 モニュメント定期補修積立金 (定期預金)	栃木銀行佐野支店 佐野信用金庫本店 " 足利銀行佐野支店 " 佐野農業協同組合本店 "	モニュメント定期補修費	1,000,000 2,399,065 5,000,000 3,000,000 100,000,000 10,000,000 100,000,000
	(投資有価証券)	栃木銀行佐野支店 第142回共同発行市場公募公債 愛知県H23第11回公募公債		1,035,905 99,378,455 100,000,000
	特定資産合計			421,813,425
3. その他固定資産				
	車両運搬具	トヨタプロボックス1500cc(減価償却済)	(共用財産) うち公益目的保有財産 52.3% うち法人の管理運営の用に 供する財産47.7%	1 (1) (0)
	什器備品	美術品	公益目的保有財産であり 公1事業に使用している	3,010,000
	モニュメント	美術品	公益目的保有財産であり 公1事業に使用している	17,000,000
	その他固定資産合計			20,010,001
固定資産合計				945,403,565
資産合計				948,978,455
(流動負債)				
	未払金			0
流動負債合計				0
負債合計				0
正味財産				948,978,455

# 監査報告書

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団  
理事長 佐野正行様

平成31年4月18日

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団  
監事 白澤幸治

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団  
監事 寺岡篤

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主たる事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び正味財産の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

